



スギ間引き伐採と植樹



11月21日(土)上銘さん宅のカイニョの間引きと整枝、及び植栽を行った。

9名の参加で、午前中いっぱい仕事となったが、安定したカイニョになろうとの期待がつけられた。

上銘さんの希望は、目隠しとしての役目を大事に、風の心配がないようにとの事。加えて、敷地の草が繁茂しない、といったことに応えて取り組んだ。

× × ×

主な作業内容は

- 1) 母屋をつつんで、S面~W面の敷地境界に、15年前スギを一行に植えられた。今回、そのうちの不良木7本を間引きし、枝張りを良くした。残したスギは、枝葉の枝おろしをした。
- 2) 安定した樹叢を想定して苗木を植えた。(40cm程度のポット苗)
タブ:4本、ヒバ:5本、サワラ:5本、エゴノキ:3本、ツバキ:5本の計22本を植えた。
その際に、活着、根張りを促すため、パーク堆肥7袋(1袋40ℓ)を使用した。
- 3) 伐採木・整枝葉は、軽トラック4台分、会員で始末した。

× × ×



参加した会員9名は、それぞれ体力にあう作業をして心地よい汗をかいだ。

男性陣6人は高所作業・軽トラックでの運搬にあたり、女性陣3人は枝葉の運搬にあたった。

今回の伐採・整枝の作業は、倶楽部として初めての事であり、力量以上の作業であった。

旧会員のTさんの奥さんも参加。ちょうどこの日が49日の日にあたりと話され、「お世話になったことへのお礼もあって、案内をみたので手伝わせてもらいます」と。

そのお心に一同感謝!!



後日、上銘さんより「ありがとうございました」と、お礼がありました。

「うるおい環境とやま賞の『光の賞』」を受賞

11月25日(水)に富山タワー111スカイホールにて、富山県「うるおい環境とやま賞」の受賞式があった。

顕彰の対象は下記のとおり

- A-単体の建築物、土木施設、工作物等で、周辺や地域の景観づくりへの配慮・工夫が優れているもの
- B-複数の建築物等から成る生活空間や、意識的に景観づくりが行われた自然を中心とする環境で、景観が優れているもの
- C-景観づくりの推進を目的とした個人または団体による活動で、顕著な功績があったもの

賞は、各部門1表彰で、5部門「土の賞」「風の賞」「水の賞」「緑の賞」(建築物等)と「光の賞」。受賞した「光の賞」は、景観づくりに積極的に活動している団体が該当。(当倶楽部が設立し、18年目)

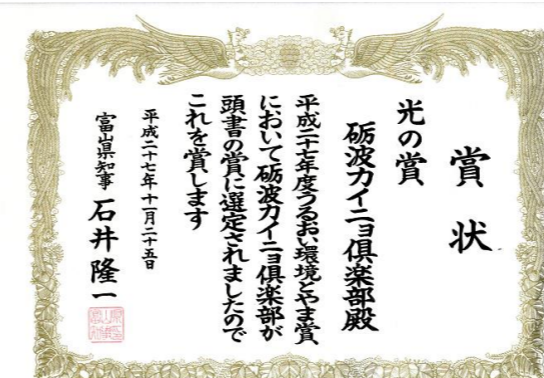
受賞理由は、砺波平野の散居村の景観を守るため、屋敷林(カイニョ)の保存・育成等に、屋敷林内の掃除や植樹、手入れの仕方の講習会など、保全につながる活動のほか、カイニョの価値を再認識し、カイニョに親しみ楽しむ活動にも取り組んできた事。そして、となみ野が誇る散居景観を後世に伝えようとして取り組んできた会員の熱意、長年にわたる地道な景観保全活動が高く評価された。



受賞式



富山新聞
2015年11月27日付



砺波カイニョ倶楽部(砺波市)

【活動者】 砺波カイニョ倶楽部
砺波平野の散居村の景観を守るため、屋敷林(カイニョ)の保存・育成等に取組む市民団体です。屋敷林内の清掃や植樹、手入れの仕方の講習など、カイニョの保全につながる活動のほか、カイニョの価値を再認識し、カイニョに親しみ、楽しむ活動にも積極的に取り組んでいます。となみ野が誇る散居景観を後世に伝えようとして取り組んできた会員の熱意、長年にわたる地道な景観保全活動などが高く評価されました。